

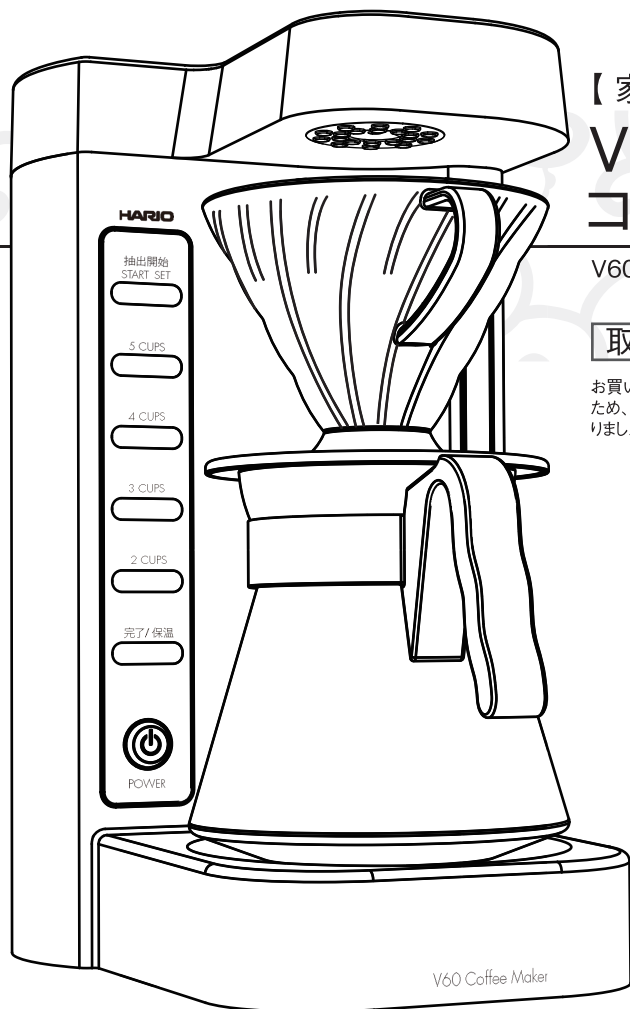
【家庭用】

V60 珈琲王 2 コーヒーマーカー

V60 円すい形 ペーパードリップ式 (2~5 杯用)

取扱説明書 保証書付

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになりましたら、大切に保管してください。



1	はじめに読んでいただきたい事項
2~4	安全上のご注意
5	V60 の特長
6	珈琲王 2 の特長
7	各部の名称
8	初めて使うとき
9.10	ご使用方法
11	分量について
12	故障かな?と思ったら
13	サーバーのお取り扱い
14	お手入れ方法
裏表紙	製品仕様・保証書

はじめに読んでいただきたい事項

本製品は2～5杯用です。水量は300ml以上750ml以下でご利用ください。水タンクに入れた水は、杯数ボタンに関係なく全て排出されます。必ず選択される杯数ボタンに対応した水量を入れてください。

※1杯分、300ml未満には対応していません。

【V60 珈琲王2コーヒーマーカーを長くご利用いただく為に】

「クエン酸洗浄」をお願いします。

使っているうちに内部の給湯パイプ・切り替え弁などに、水の中に含まれているミネラル分など（湯アカ）が付着しお湯の出がわるくなったり、抽出スピードが遅くなったりします。

クエン酸の代わりに、お酢を使っても洗浄ができます。洗浄の目安は3ヶ月～半年に1度ですが、ご使用頻度が多い場合は

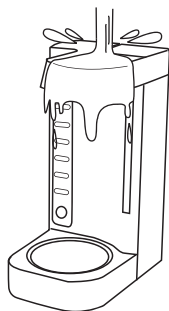
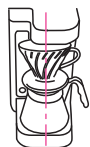
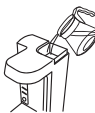
2ヶ月に一度 程度洗浄を行ってください。

※石灰分等の付着によるパイプ内部の水流れの悪化が原因で、タンク内に水が残ったままと誤認し、抽出完了ランプが点灯したりエラー表示となる場合があります。

その際は、通常よりも多めのクエン酸（大さじ2杯程度）を水に溶かし、2回程度の洗浄を行ってください。

クエン酸洗浄

- ①サーバーの600の目盛まで水を入れ、クエン酸（またはお酢）を10g（大さじ1杯）加えてよく混ぜクエン酸水を作る。
- ②水タンクに作ったクエン酸水を入れる。
- ③ドリッパーとサーバーを本体にセットする。（ペーパー、コーヒー粉は入れません。）
- ④電源を入れて、杯数ボタン「4」を押し、抽出開始ボタンを押す。
- ⑤抽出完了のアラーム「ピーピーピー」が鳴り、完了／保温ランプが点灯したら、サーバーの水を捨て、5分以上たってから、水だけでクエン酸のニオイを取るための洗浄運転をする。（p8参照）



本体は水洗いできません。

本体表面の汚れは湿った布で拭いたあと、乾いた布でふき取ってください。

⚠️ お手入れは必ずスイッチを切り電源プラグを抜いて、十分に冷えてから行ってください。

⚠️ シンナー、ベンジン、除光液、ミガキ粉、たわしなどは使用しないでください。変形、変色、傷などの原因になります。

【注意】

- ・水タンクにはクエン酸を直接入れず、水に溶かしたものをご利用ください。内部で固まり、詰まる原因となります。
- ・水タンクへは、水・クエン酸水以外はいれないでください。故障の原因となります。
- ・保温プレートが熱くなっておりますので注意してください。
- ・クエン酸はキッチン用のものをご使用ください。

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。このマークは、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示してある事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
例  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。
例  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容（左図の例では分解禁止）が描かれています。
例  電源プラグをコンセントから抜いてください  指示を守ってください	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください/指示を守ってください）が描かれています。

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷がついていたり、通電したりしなかったりする。



このような症状のときは、事故防止のため、使用を中止しコンセントから電源プラグを抜いて、販売店または弊社相談窓口にて点検をご相談ください。

電源プラグ・コンセントについて

⚠ 警告

交流100V以外では使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。修理は弊社で相談窓口までお問い合わせください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用したり分岐コンセントを使用すると異常発熱して発火することがあります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源プラグのほりこりなどは、定期的に取りってください。電源プラグにほりこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



設置場所について

⚠ 警告

不安定な場所では使用しないでください。けが・故障の原因になります。



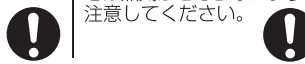
電源コードは足や物に引っかけると、本体の落下や転倒によりやけどやけがの原因となります。十分注意して配置してください。



⚠ 注意

長時間直射日光が当たる場所、ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しないでください。本体の変形、故障、事故、火災の原因となります。

壁や家具の近くでは使わないでください。また、上にモノを載せて使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。収納棚などの中で使用するときは蒸気がこもらないように注意してください。



ご使用について

⚠ 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。感電・やけどをする恐れがあります。



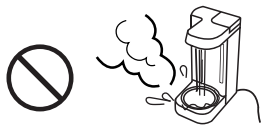
蒸気口付近に手や顔を近づけないでください。やけどをする恐れがあります。とくに乳幼児には触らせないようにご注意ください。



ご使用について

⚠ 警告

サーバーを外して使わないでください。やけどの恐れがあります。



本体を丸洗いしたり、水をかけたり、浸けたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。



強い衝撃を与えないでください。破損・故障・短寿命の原因となります。



使用中や使用直後は保温プレートやその周囲、サーバーなど高温になっている部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



サーバーを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。



抽出時や抽出後、高温になった蒸気がオーバーフロー窓から吹き出すことがあります。顔や手を近づけないでください。やけどの恐れがあります。



⚠ 注意

コーヒー粉を入れすぎないでください。50g以上のコーヒー粉を入れるとコーヒーがあふれてやけどすることがあります。



水タンクに水道水・クエン酸水以外のものを入れないでください（お湯、牛乳・コーヒーなど）。故障の原因になります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水・井戸水などは内部に石灰分がつきやすいためお勧めできません。



加熱中は水タンク内が高温になります。フタを開けたり、差し水をしたりしないでください。高温の蒸気による、やけどの原因になります。



続けてコーヒーを抽出するとき、電源スイッチを切り5分以上待ってください。本体が熱いうちにタンクに水を入れるとタンクから蒸気が出てやけどするおそれがあります。



水量目盛MAX・5以上の水を入れないでください。入れ過ぎると背面のオーバーフロー口より水が溢れ出します。



水タンク内に少量の水が残っているままスタートすると、通常運転となり、お湯が吹き出すことがあります。



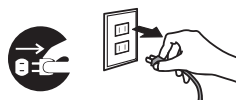
水蒸気の発生により本体に水がついたときは乾いた布でふきとってください。（タンクの入り口周辺/抽出口付近など）



水タンクに水が入っていない状態で使用しないでください。空焚きになり故障・事故の原因となります。



お手入れするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



サーバーについて

⚠ 注意

サーバーは火にかけないでください。



ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取り扱いください。また、破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。



廃棄について

⚠ 注意

廃棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。



V60 の特長

追求したのは 「ハンドドリップ」の美味しさ。

「V60」ハンドドリップ・コーヒーの味をご家庭で簡単に。そして、どなたでも。

コーヒー器具メーカーのHARIOは、V60円すい形ドリッパーを発表以来、世界中のコーヒーを愛する人々に高い評価をいただいております。

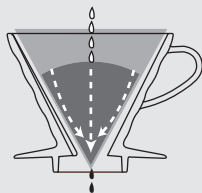
V60珈琲王2コーヒーメーカーは、HARIO独自の杯数に応じた「蒸らし」機能、おいしいコーヒーの条件である、「高温抽出」システムにより、かぎりなくハンドドリップコーヒーの味わいを再現できるよう開発しました。

いつでも安定抽出できるので、ハンドドリップで淹れたような美味しいコーヒーを、ご家庭でお手軽にお楽しみいただけます。

●V60 ドリッパーの特長

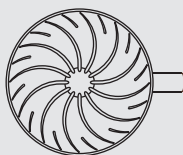
円すい形

コーヒー粉の層が厚くなり、お湯が中心に向かって流れることによりコーヒー粉に長く触れ、コーヒー粉の成分をしっかりと抽出します。



大きな一つ穴

ドリッパーの底面に大きなひとつ穴を開けました。大きな穴からペーパーの先端が出ることで、注がれたお湯がドリッパーからの制限を受けることなく抽出ができます。



スパイラルリブ

"蒸らし"の際のコーヒー粉の膨張を妨げない高いリブ。ペーパーとドリッパーの密着を防止、空気が抜けることでコーヒー粉がしっかりと膨らみます。



●V60 ドリッパーでハンドドリップする場合



粉は平らに



30秒蒸らし



中心にドリップ

1. 挽きたてのコーヒー粉をペーパーに入れ、ゆすって平らにする。
2. コーヒー粉全体が湿る程度にお湯を注いで30秒蒸らし。
3. 粉の中央に500円玉くらいの円を描くようにお湯を落とし、杯数に関係なく3分以内に注ぎきる。

珈琲王 2 の特長

コンパクトなボディ

旧モデルと比較して、約 25 パーセント小さくなりました。

21 穴抽出口

コーヒーメーカーでは多孔である 21 穴の抽出口で、コーヒー抽出に理想的な注湯方式を実現しました。

高温抽出システム

蒸らしから抽出まで一貫して高温を維持するシステムにより、ドリップに最適な抽出温度である 93℃前後でのコーヒーアロマを十分に引き出せる注湯方式を実現しました。

シンプルな操作

①電源→②杯数ボタン選択→③スタートの 3ステップ。

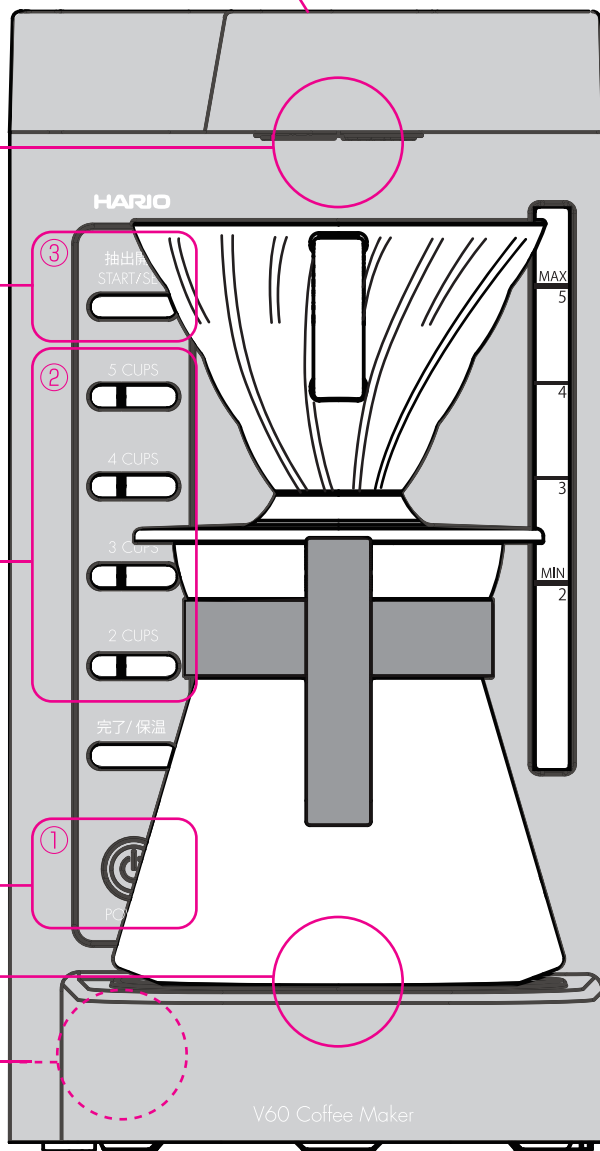
保温機能

抽出後のコーヒーが冷めないようにする保温機能付き。

30 分間ヒーターの ON・OFF を繰り返しコーヒーを高温に保ちます。

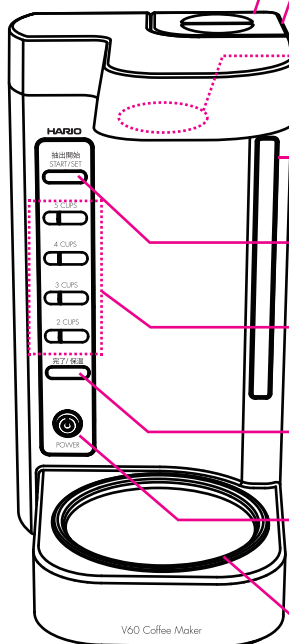
コード収納

使わない時にコンパクトにしまえる様に、背面にコード収納スペースを設けました。



各部の名称

〔正面〕



フタ / 水タンク

⚠ 使用中はフタを外さないでください

本体

⚠ 天面に物を乗せないでください

抽出口

抽出中は熱い蒸気が出ますので、顔や手を近づけないでください。

水位窓

⚠ MAX-5(750ml)を超える水を入れしないでください。

抽出開始ボタン

運転を開始します。
エラーを解除する際にも使用します。

杯数ボタン

抽出杯数を設定します。
抽出開始ボタンを押すと、左側のランプが点滅します。

完了/保温ランプ

抽出後30分点灯します。
点灯中は保温プレートを加熱します。

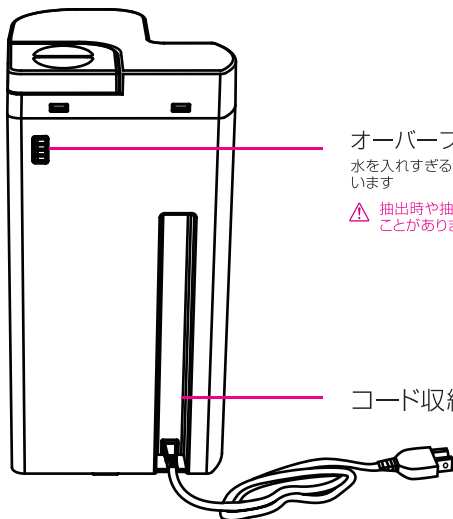
電源スイッチ

保温機能が終了しても自動では消えません。使用後は電源を切ってください。

保温プレート

運転中と抽出後30分間高温になります。ご注意ください。

〔背面〕



オーバーフロー窓

水を入れすぎると溢れるようになっています

⚠ 抽出時や抽出後、蒸気が噴き出すことがあります。ご注意ください。

コード収納スペース

同梱の付属品



ペーパーフィルター 02W
(白 / 40 枚入り)



計量スプーン
コーヒー粉すりきり約 8g

材質：ポリプロピレン



V60 透過ドリッパー 02

材質：PCT 樹脂



V60 コーヒーサーバー 700

材質：耐熱ガラス・ポリプロピレン

※ 本体は樹脂製の為、樹脂特有のにおいがある場合がありますが、人体に影響はありません。

※ 製品の仕様は品質向上の為予告なしに変更となる場合があります。

初めて使うとき

1 本体から取り外せる下記のもの水洗いしてください。



2 最初に使用するときや、しばらく使用しなかったときには本体の「洗浄運転」を行ってください。

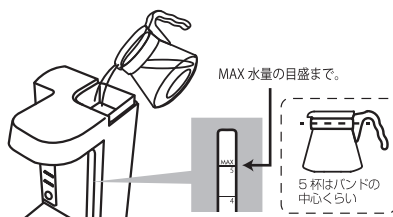
〔洗浄運転〕

1 水タンクに水道水を入れる。

フタを外して MAX・5(750ml) 水量の目盛まで水を入れ、フタをしてください。(付属のサーバーで水を入れる場合、5杯分はバンド中心くらいです。)

●水道水を入れてください

⚠ 最大容量は5杯分です。水量目盛 MAX・5(750ml)を超えないでください。入れ過ぎると背面のオーバーフロー窓より外に溢れます。

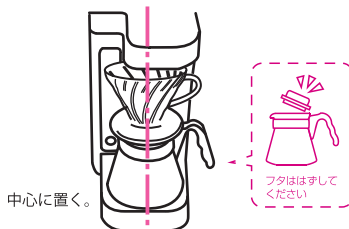


2 サーバーとドリッパーを本体にセットします。

ペーパーとコーヒー粉は入れずにサーバーとドリッパーをセットします。

●サーバーとドリッパーは保温プレートの中心に正しくセットしてください。

⚠ サーバーのフタは必ずはずしてください。
⚠ サーバーとドリッパーを置いていない、または中心からずれていると、熱湯が外にこぼれ、やけどをする恐れがあります。



3 ボタンを押して設定をします。

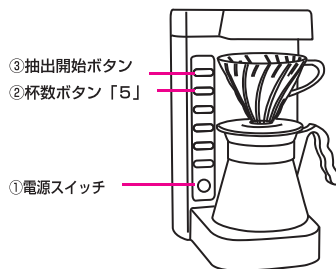
- ①電源スイッチを入れる
- ②杯数ボタンの「5」を押す
- ③抽出開始ボタンを押す

しばらくするとボコボコという沸騰音と共に注湯が始まります。はじめはお湯が少量出て止まり、30秒ほどたつと再度お湯が落ち始めます。「ピー・ピー・ピー」とアラームが鳴るとタンクのお湯がなくなり注湯が終了します。

⚠ 抽出口からは高温の蒸気が出ます。抽出口に顔や手を近づけないでください。

⚠ 注湯中は水タンクのフタを開けないでください。

⚠ 保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。

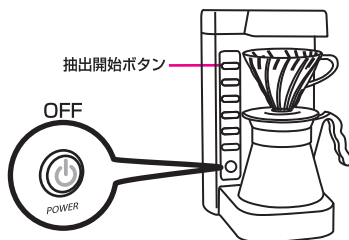


⚠ 蒸気に注意

4 電源スイッチを切り、お湯を捨てる。

注湯が終わったら、抽出開始ボタンを押してから、電源スイッチを切ってください。サーバーに排出されたお湯は捨ててください。

⚠ 続けてコーヒーを抽出するときは、電源スイッチを切り5分以上待ってから次の抽出を開始してください。本体が熱いうちにタンクに水を入れると蒸気が噴出しやけどをするおそれがあります。



ご使用方法

1 水タンクに水道水を入れる。*常温の水をご利用ください。お湯の場合エラー表示になることがあります。

水タンクのフタを外し、水量目盛を見ながら淹れたい杯数分の水を目盛り通りに入れます。5杯分を抽出する場合は、水量目盛 MAX・5(750ml)まで入れてください。

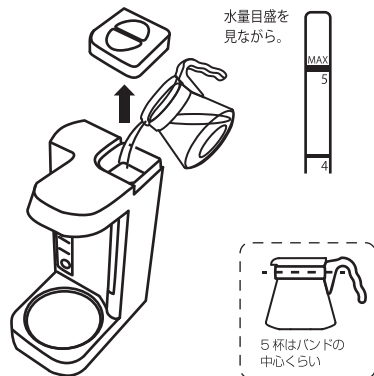
● 付属のサーバーで水を入れる場合、5杯分はバンド中心くらいです。他の杯数はサーバーや水位窓の容量目盛を目安にご利用ください。(コーヒー1杯分に必要な水は約150ml)

● 必ず杯数分の水道水を入れてください。ミネラルウォーターやアルカリイオン水、井戸水などは本体内部に湯アカなどがつきやすくなる為お勧めできません。

⚠ 運転中は必ず水タンクにフタをしてください。

⚠ 最大容量は5杯分です。水量目盛MAX・5(750ml)を超えないでください。

⚠ 水タンクに水を入れすぎた場合は本体を少し傾けて、背面のオーバーフロー窓から出してください。



2 ペーパーを折りドリッパーにセットする。

ペーパーフィルターのチャック部(点線部)を折り曲げ、ドリッパーの内部にぴったりとセットし、サーバーの上のにせます。

⚠ サーバーのフタは必ずはずしてください。



3 コーヒー粉を入れる。

杯数分のコーヒー粉を入れます。入れたらコーヒー粉はすこしゆすって平らにします。付属の計量スプーンで、すりきり1杯がコーヒー1杯分です。

● 計量スプーンのすりきり1杯は約8gです。お好みのコーヒーの濃度により粉の量を調整してください。薄めに抽出したいときは計量スプーンの7gや6gのラインを目安に入れてください。

● コーヒー粉は中細挽きをお使いください。

⚠ コーヒー粉は50g以上入れないでください。多すぎると抽出中にドリッパーから溢れ出す恐れがあります。



コーヒー豆は中細挽きをご利用ください。



4 サーバーとドリッパーを本体にセットする。

ドリッパーを載せたサーバーを静かに本体の保温プレートの上に載せます。

● サーバーとドリッパーは保温プレートの中心に正しくセットしてください。

⚠ サーバーとドリッパーを置いていない、または中心からずれていると、熱湯が外にこぼれ、やけどをする恐れがあります。

⚠ サーバーと保温プレートは水分が付着しない様によく拭いてください。抽出中に水分がはねる場合があります。



正しく中心に。

サーバーとドリッパーを中心におくことでお湯がコーヒー粉に均一にかかります。

5 電源スイッチを入れる。

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。

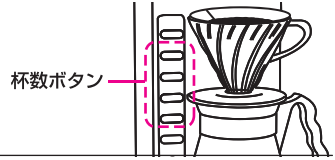
⚠ 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。



6 杯数ボタンを押す。

水タンクに入れた水量と同じ杯数ボタンを押します。5杯の場合は、「5」の杯数ボタンを押します。

※これは杯数による蒸らしの湯量と時間を設定するボタンです。

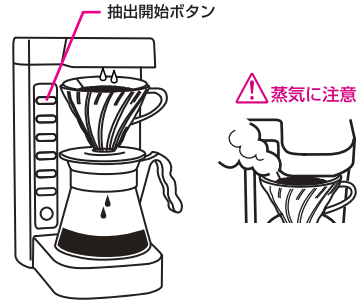


7 抽出開始ボタンを押す。

抽出開始ボタンを押すと杯数ボタンの左のランプが点滅します。しばらくすると、ポコポコという沸騰音と共に少量のお湯が出て、コーヒー粉を蒸らします。30秒間止まった後、再度お湯が落ち始め、本抽出が始まります。

●抽出開始ボタンを押した後も、杯数を変更することができます。その際は、再度抽出開始ボタンを押し、ご希望の杯数の杯数ボタン再選択してから、抽出開始ボタンを押してください。

- ⚠️ 抽出口からは高温の蒸気が出ます。注湯中は、タンクのフタを開けたり、抽出口に顔や手を近づけないでください。
- ⚠️ 保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。また、お客様の手の届く場所では使用しないでください。
- ⚠️ 上方の開口部よりお湯や抽出中のコーヒーがはねる場合がありますのでご注意ください。

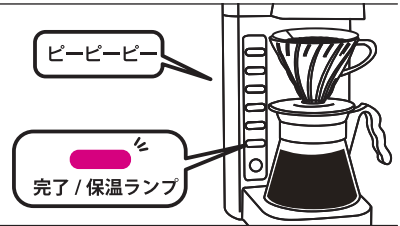


8 抽出終了のアラームが鳴ります。

「ピーピーピー」とアラームが鳴ると抽出終了です。抽出が終わると、完了 / 保温ランプが点灯し保温モード（保温プレートが加熱する）になります。

●保温プレートの保温時間は30分間です。30分を過ぎると自動的に保温ランプが消え、保温モードが終了します。

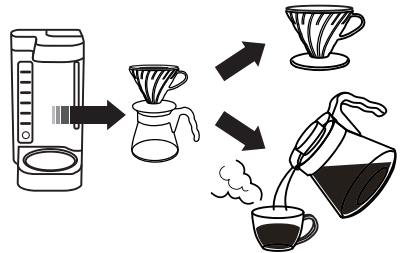
- ⚠️ 保温プレートは高温になりますので手を触れないでください。



9 本体からサーバーを外し、コーヒーを注ぐ。

ドリッパー・サーバーを本体から外してください。サーバーにフタをして、コーヒーをカップに注ぎ、サーバーに残ったコーヒーは、保温プレートにのせてください。

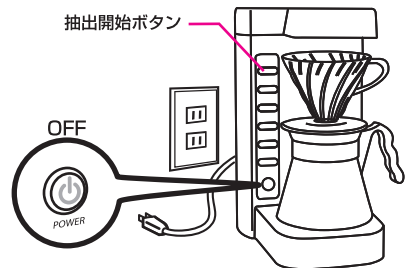
- ⚠️ 抽出したコーヒーは、大変高温になっています。お召し上がりの際にやけどをしないようご注意ください。
- 時間の経過と共に、コーヒーの味と香りは損なわれます。なるべく早いうち（30分以内）にお召し上がりください。
- 保温プレートの加熱時間は30分間です。保温終了時には「ピー」の長いアラームが鳴ります。コーヒーの温めなおが必要な場合、サーバーはフタをしたままでも電子レンジをご利用頂けます。
- ドリッパーを外す際、コーヒーが漏れることがあります。ご注意ください。



10 保温モードが終わったら電源を切る。

完了 / 保温ランプが消えたら抽出開始ボタンを押してから、電源スイッチを切ってください

- ⚠️ 続けてコーヒーを抽出するときは、電源を切り5分以上待ってから次の抽出をしてください。本体が熱いうちにタンクに水を入れると水タンクから蒸気が噴出しやけどするおそれがあります。
- ⚠️ 保温モードを途中で終わらせたいときは、抽出開始ボタンを押し、完了/保温ランプが消灯したことを確認してから電源スイッチをOFFにしてください。（抽出開始ボタンには「リセット」の動きがあります）
- ⚠️ 保温プレートは、電源スイッチを切った後もしばらく高温になっています。絶対に手を触れたりしないでください。



使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

分量について

■計量スプーンについて

コーヒー粉を計る際の目安にしてください。

8g でコーヒー約 1 杯分

コーヒー豆：中細挽き

すりきりで約 8g

約 7g のライン

約 6g のライン



■出来上がり量について

コーヒー粉と水量、出来上がり量は下記のような関係になっています。抽出濃度を調整する際の目安にしてください。

△ タンクに入れる水の量は 300ml ~ 750ml でご使用ください。

	タンクの水	杯数	コーヒー粉の量 (すりきり 8g)	蒸らしの湯量 (目安)	一杯分 120~130ml コーヒーの 出来上がり量 (目安)	抽出開始ボタンを 押してから抽出終 了まで。 所要時間 (目安)
MAX 5	750ml	5 杯分	40g	75ml	650ml	8 分 30 秒
4	600ml	4 杯分	32g	60ml	520ml	7 分 10 秒
3	450ml	3 杯分	24g	45ml	390ml	6 分 00 秒
MIN 2	300ml	2 杯分	16g	30ml	260ml	5 分 00 秒

* コーヒーの出来上がり量はコーヒー粉に吸収される分、多少減少します。また、挽き方や品種により異なります。
* 所要時間は水温や気温・本体内の熱の残り具合により異なります。

■アイスコーヒーを作るとき

アイスコーヒーを作るときは、アイスコーヒー用のコーヒー粉を使用し、水の量を少なく濃い目に抽出してください。作り方はホットコーヒーを作る場合と同様です。サーバーに氷を入れて抽出すると溢れ出す場合があります。氷を入れたグラスを用意して、濃い目に抽出したコーヒーを注いでください。



グラスに氷を入れて注いでください。



△ サーバーに氷を入れて抽出しないでください。コーヒーが溢れ出す恐れがあります。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。その後、本体が冷えてから、下記の内容をチェックしたうえ、症状が改善しない場合は弊社「ご相談窓口」にお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
ランプがすべて点灯してアラーム音が鳴った。 (エラー状態)	65℃以上のお湯をタンクに入れた。	抽出開始ボタンを押し、電源スイッチをOFFにしてから、再度電源スイッチを入れなおしてください。(エラー状態を解除)その後、5分以上本体を冷ましてから、65℃以下のお湯でお試しください。
	本体がまだ熱いうちに抽出を開始しようとした。	
コーヒーができない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が入っていない。	電源スイッチを押して、電源を入れてください。
	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。
	ドリッパーにコーヒー粉が入っていない。	ペーパーをドリッパーにセットしてコーヒー粉を入れてください。
	前回の抽出が終わってから、すぐに運転を開始した。	抽出が終了してから最低でも5分以上冷ましてから、次の抽出開始をしてください。
コーヒーの落ちが遅い。	コーヒー粉(挽き具合)が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
お湯の出が悪い。	給湯パイプ・切り替え弁などに湯アカなどが付着している。	湯アカなどの除去をするため、クエン酸洗浄をしてください。(p1「クエン酸洗浄」参照)
コーヒーが溢れる。	サーバーにフタをしたまま抽出した。	サーバーのフタをはずしてください。
	タンクの水量が最大量を超えている。	750mlを超える水を入れしないでください。
	コーヒー粉を入れすぎている。	コーヒー粉は50g以上入れしないでください。
	コーヒー粉(挽き具合)が細かすぎる。	中細挽きのコーヒー粉を使用してください。
抽出したコーヒーがぬるい。	コーヒー豆/粉を冷凍庫・冷蔵庫に保存していた。	コーヒー豆/粉が常温になったのを確認してから使用してください。
ペーパーの臭いが気になる。		本体にセットする前に、ドリッパーにペーパーをセットした状態で熱湯を注ぎ、ペーパーにお湯を通してからご使用ください。

【エラー表示が出たときの対処方法】 ※エラー表示:すべてのランプが点灯し、アラームが鳴る

< 症状 >

・前回まで使えていたのに、突然エラー表示がでるようになってしまった。

< 対処方法 >

- ①抽出開始ボタンを押し、電源スイッチをOFFにする。
- ②電源プラグを抜き、5分以上そのままにしてください。
- ③本体が冷めているのを確認し、電源プラグを差し直してご使用ください。

サーバーのお取り扱い



電子レンジ 直火

お取り扱い上の注意

⚠️ 電子レンジ以外の加熱器具は使用しないでください。

⚠️ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取り扱いください。

⚠️ お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。

⚠️ 取っ手部分とガラス本体は分解できない構造になっております。危険ですので、絶対に分解しないでください。万が一取っ手の合わせ目が開いたり、ぐらつきのある場合は、使用しないでください。

- ご使用前には洗浄をしてください。
- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- ガラス本体が熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた台の上に置くこと、急激な温度変化により破損する場合があります。おやめください。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。
- 熱いお飲物を入れると、プラスチック部分が軟化してバンドがゆるくなり、左右にずれることがあります。
- ご使用中に亀裂やゆるみなどの異常を感じた場合、絶対に使用しないでください。

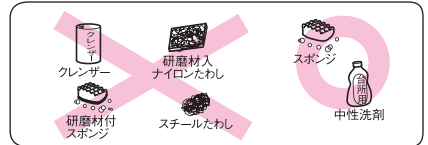
電子レンジでのご使用上の注意

⚠️ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります(突沸現象)。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。

- 突沸現象については、弊社ホームページwww.hario.comをご参照ください。
- 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
- 空だきや中身が少ない状態で使用しないでください。
- ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
- 電子レンジ加熱後は熱くなりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取っ手を持ってください。また、ビニール製のテールクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。台に置く際は必ずなべしきなどをご使用ください。

お手入れの方法

⚠️ やわらかいスポンジでも、下図のようにクレンザーやガラスに傷のつく研磨材、または研磨粒子がついているスポンジなどは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。



- サーバーとフタは食器洗い乾燥機のご使用ができません。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。
- 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。

■ 電子レンジでの加熱時間の目安 ■ (20℃→75℃への目安時間)

V60コーヒースerver-700	
ワット数	温める量 約700mlのとき
500W	約6分半
600W	約5分半
700W	約4分半

※加熱のしすぎにはご注意ください。
※加熱時間は電子レンジの機種やコーヒーの温度、量などによって異なりますので加減してください。

材質のご案内



家庭用品品質表示法による表示

品名	耐熱ガラス製器具
使用区分	電子レンジ用
耐熱温度差	120℃

取扱い上の注意

- 調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。
- 空だきをしないで下さい。
- 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。
- 使用区分以外には使用しないで下さい。

HARIO株式会社

〒103-0006東京都中央区日本橋富沢町9-3



お手入れ方法



ドリップパー



計量スプーン



水タンクフタ



サーバーフタ

やわらかいスポンジに中性洗剤を使用し水洗いしてください。

食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。

■お問合せ先

【通信販売】

弊社ネットショップ

HARIOパーツ 検索

<http://www.hario.co.jp/>

または、
フリーダイヤル 0120-39-8208
[平日 9:00 ~ 18:00]

【製品について】

お客様センター
フリーダイヤル 0120-39-8208
[平日 9:00 ~ 18:00]

1. 保証書について

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

必ずご相談窓口までご一報ください。保証書の記載内容に基づき当社で無償修理致します。保証期間を過ぎている場合は、有償修理となる場合があります。

3. 修理用部品の最低保有期間

当社はコーヒーメーカーの補修用部品を製造打ち切り後、最低5年保有しています。

ご相談窓口

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3

<http://www.hario.com/>

フリーダイヤル 0120-39-8208